

# 地域連携 café ルリアン

岩本咲希（環境人間学部3年）

キーワード：地域、学生間交流、場づくり

## 1. 団体概要

地域連携 café ルリアンは、2024 年度に発足された学生団体である。ボランティアや地域連携活動に興味を持っている学生とボランティア団体や地域の方とをつなげることを目的として活動している。また、学生と地域の方、学生同士が交流するための場づくり・企画を行う。現在のメンバーは、3 回生 3 名である。

## 2. 活動内容

2025 年度の活動は、春フェスの開催、工大祭の出店、の 2 つである。

5 月 8 日に実施した春フェスは、「新入生の歓迎・学年をこえた学生同士の交流の促進、交流の機会を通して団体下の理解が深まり新メンバーの獲得に努める」ことを目的として、エコヒューマン・地域連携センターに所属する計 16 団体が参加した。開催にあたって、写真 1 のポスターを作成し、チラシの設置や 1 年生の必修講義「環境と人間」にて配布するなど広報活動を行った。地域連携 café ルリアンでは、レモネードとかき氷を販売し、ルリアンの活

動を多くの新入生に知っていただけた機会となった。

10 月 31 日~11 月 2 日の 3 日間にわたって開催された工大祭に出店し、ドリンク(コーヒー、レモネード、チャイティー、コーンスープ)、お菓子、編み物雑貨の販売を行った。ドリンクの提供時に、ご注文いただいたお客様とお話をする中で地域連携 café ルリアンのことを知っていただける機会になった。近くにお住まいの方から大阪や京都など遠くからお越しの方まで交流を深めることができた。工大祭を通じて学生と地域の人たちが自然に交流できる場をつくることができた。

また、2024 年度に実施した「地域プレイヤープレゼン大会」において、活動に興味を持った学生と地域プレイヤーのマッチングが図れた。2025 年度は、地域プレイヤーが運営する組織（就労支援 B 型事業所）のインターン生として受け入れていただき、1 年間活動に参加させていただいた。主に、就労支援 B 型事業所の利用者さんへ支援を行った。具体的には、ゴム製品のバリ（成形課程で発生する残留物）をとる作業や紙リサイクル機器にて紙のリサイクル作業、除草作業に参加し、実践的に福祉について学習した。利用者の自立とは何かといった疑問を持つようになり、支援者と被支援者の関係性や意志決定支援に関心をもち、卒業論文のテーマにつながる学びを得ることができた。ここでもまた、学生と



写真 1 春フェスで使用したポスター



写真 2 工大祭出店の様子

地域との繋がりを深め、地域に貢献することもできた。

### 3. 今後の展望

2025年度は多くの方に地域連携 café ルリアンの活動を知っていただく機会をもったが、新規メンバーの獲得には至らなかった。また、ルリアンとしてのイベントの実施にも至らなかった。これらを踏まえて、2026年度は「1年を通したイベントの実施と活動継続に向けて新規メンバーを獲得する」ことを目標とする。

2024年度に実施した「地域プレイヤープレゼン大会」では学生と地域プレイヤーのマッチングが実現し、2025年度も継続して活動に参加するという大きな実績を得られたことから、2026年度は第2回地域プレイヤープレゼン大会の実施を目指す。

目的は、学生と地域の連携による地域課題解決を目指し、学生の『やりたい』と地域の悩みのマッチングを図ることであり、前回の課題点である告知の不足・EHCの他の団体への呼びかけの不足を改善する。学生の声をすくいあげるべく、5～7月にEHC所属団体が集まるイベントを2回程実施するとともに、EHCに関わる先生方にお話を伺いたい。その後、夏休み期間を利用してプレゼン大会に協力していただける地域プレイヤー探しを行い、10月上旬に「地域プレイヤープレゼン大会 vol.2」を実施したい。

現在、団体に所属するメンバーは3回生3名のみであり、来年度には4回生になるので現メンバーだけでは今後の活動継続が難しくなる。また、4回生は通学する回数が減ってしまうため、イベント実施に向けてより具体的な活動計画を練る必要がある。来年度は、具体的な活動計画の策定と新メンバー獲得したい。